

## 鋼製補強土擁壁の雪害対策は大丈夫ですか？

新潟県津南町役場／足滝田災害復旧工事



↑↑↑津南町では撮影日(1/15)現在迄に、最大1.7mの積雪が観測されています。

積雪の多い地域では、雪の沈降力に耐えかねて壁面材が前傾するといった被害がよく見受けられます。

当社の鋼製補強土壁テンサーダブルウォール (TDW) やブロックノン (BLN) では、現場の状況に応じて雪害対策を施しておりますので安心です。

撮影：6月



■この現場では、近隣で雪害対策を施した当社の補強土擁壁にはどれも変状がみられなかったという実績が評価され、共生の補強土擁壁(TDW)が採用されています。(※上記現場の設計積雪深：4.0m～4.5m)



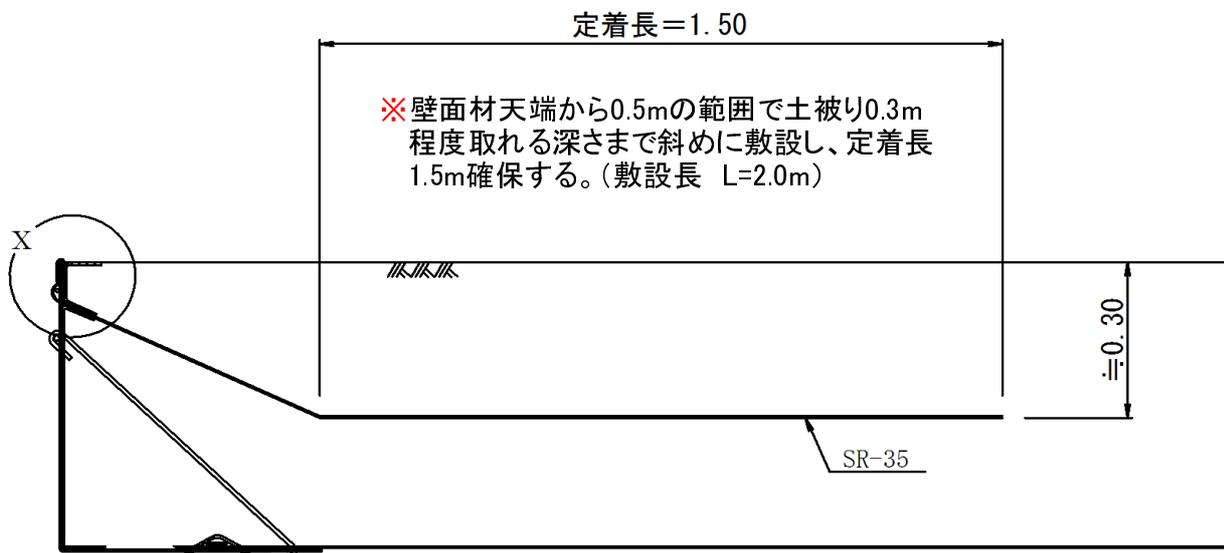
■盛土(5m)下に設けられた補強土擁壁(他社)が、冬期の積雪(2.0～3.0m)によりほぼ全線にわたり天端が損傷。

※ 同路線の当社補強土擁壁(TDW)に損傷はありませんでした。

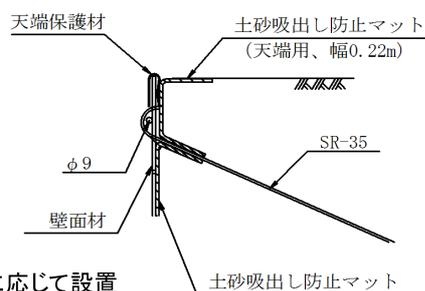
**天端の壁面ユニットに補強材のテンサーを連結し約2m敷設することで、雪の沈降力による壁面ユニットの変状を防止する対策を施します。**



**雪害対策天端補強材敷設方法**



・ X部詳細



※天端保護材は必要に応じて設置

